

第3回 西成区教育行政連絡会（公開の部） 議事要旨

1 日時

令和7年12月8日（月） 午前10時00分~午前10時40分

2 場所

西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティマネージャー兼教育委員会事務局区担当教育次長、区副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、玉出小学校長、千本小学校長、橘小学校長、まつば小学校長、長橋小学校長、新今宮小学校長（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

○ 令和7年度 西成区こども・教育関連事業の実施について

【説明要旨】

・資料2～4に基づき、令和7年度西成区こども・教育関連事業の実施について、子育て支援担当課長より説明を行った。

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

・「不登校の実質ゼロ」を目指すため、寄り添い型の支援を行う各支援員及び有償ボランティアの区低学年サポーターを各学校に配置している。

・進捗状況については、年間を通じて、支援員を配置して支援を行うことで、令和7年度の1月末時点について、前年度の1月末時点と比べて、小中ともに不登校在籍率が減少している。ただ、不登校については年度末にかけて増加する傾向があるため、引き続き区登校支援・見守り支援員及び区居場所支援員の有効活用をお願いしたい。

- ・学習姿勢の評価については、年度当初に比べて、1学期末時点では、「座って学習できている」の項目は向上しており、「学習活動に参加している」及び「担任の話を聞いている」の項目については、横ばいであった。この結果を受け、3学期末に向けて、更に学習姿勢が向上できるよう新任支援員配置校を中心に訪問し、活動状況の確認等を行った。
- ・今後のスケジュールについては、今月末と3学期末に各支援員に向けて研修の実施や不登校に関する調査を行う予定。

《外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業》

- ・学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して学習支援を行い、学力の向上を図ることをめざしている。
- ・進捗状況については、10月末現在で、定員36名に対して、小学生23名、中学生6名、合計29名が参加しており、そのうち約6割が昨年度からの継続の受講者となっている。
- ・单元ごとの確認プリントや、前回の授業の重要事項をまとめた確認テストを定期的に実施しており、受講者の苦手な部分について、講師が工夫した指導を行っている。
- ・今後のスケジュールについては、2月に事業効果を図るための第2回実力テストを実施する予定。

《学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業》

- ・模擬テストを実施して生徒の苦手分野を把握し、反復演習することで、個人の学力向上、学校全体の学力の底上げを図ることをめざしている。
- ・進捗状況については、中学校1、2年生の模擬テストの関係資料が、11月26日に学校の方へ配送され、12月上旬に各中学校で模擬テストが実施されている状況。
- ・今後のスケジュールについては、12月15日に苦手分野の演習問題に飛ぶことができる二次元コードリンク集が学校へ配送されるので、各中学校におかれましては、チャレンジテストの実施日の1月14日までに演習問題に取り組んでいただけるように生徒に声かけをしていただき、取り組んでからチャレンジテストに臨んでいただけるようご協力いただきたい。また、模擬テストの結果については、2月2日に返却予定。

《発展型学習支援事業》

- ・成績中上位層を中心とした学習意欲のある生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって、さらなる学力向上を図ることをめざしている。
 - ・進捗状況については、9月に今年度最終募集を行ったところ、小学生6名、中学生18名の申し込みがあり、入塾テストの結果小学生2名、中学生8名が合格し、10月より授業を受けていただいている。
- 今年度の最終受講者については、小学生が62名、そのうち退塾者3名、中学生が42名、そのうち退塾者が2名という結果になった。

・今後のスケジュールについては、中学生に限定されるが、外部模試を受験料無料で受験することができ、時期については、中学3年生が11月と1月の2回、中学1・2年生は2月に受験予定。

《西成区基礎学力アップ事業（西成まなび塾）》

・小学校5・6年生又は中学生に対して、小中学校校舎等の施設を活用して、塾等事業者による課外事業を実施しており、大阪市習い事・塾代助成事業を利用できる。

・進捗状況については、橘小学校と岸里小学校で体験会を実施した。

・10月末時点で、小学校5・6年生の受講者15名、中学生の受講者66名。

《基礎学力向上支援事業（西成ジャガピースクール）》

・区内小学校3・4年生に対して夏休みや平日の放課後や長期休みを利用して、小学校で塾等事業者による課外事業を実施している

・進捗状況については、6月下旬から後期の募集を行い、10月末現在で定員270名に対して225名、そのうち6名退塾となっている。

・9月に実力テストを実施して、小学校3年生は当初に実施したテストから国語と数学で45%、4年生は58%の受講者の学力が向上している。

・2月頃に第2回実力テストを実施する予定。

《学習支援サービス（マイクロステップ・スタディ）》

・岡山大学が開発したeラーニングシステムで教育委員会と連携して北津守小学校で実施している。

・進捗状況については、小学校3～6年生を対象に毎日5～15分取り組んでいただいているというところで、岡山大学から積極的に取り組んでいただいているということを報告で受けている。

・大阪市で一斉に実施する学力テストでは、当該学年の国語の漢字の正答率が昨年度より大幅に上がったと学校からも報告をいただいている。今後、岡山大学等でも検証していただく予定。

《プレーパーク事業》

・昨年度から、従来のこどもの居場所的な機能を果たすプレイス型と学習に繋がるイベントを実施する体験型の2つの形態で実施している。

・進捗状況については、プレイス型は令和7年10月末現在で、33日開催しており、平均来場者数は55名となっている。

・7月～9月の暑い時期についてはウォーターパークと題し、簡易的なプールを設置して、水遊びを中心として開催した。

また、夏季期間中は例年来場者数が減少する傾向にあったが、今年度については、そう

いった取組で、夏季期間中についても、来場者数が減ることなく、お越しいただくことができた。

・体験型については、各小学校において1回もしくは2回実施しており、10月末現在で6日間開催し、平均来場者数は63名となっている。

11月から12月までは残りの小学校で引き続き開催させていただき、1月以降については、区役所での開催も予定している。

また、区制100周年記念イベントとして11月16日に、「ジャガパーわくわくクラブSP」を区民まつりと同時開催し、理科実験ショーや、スプレーアート等の様々なブースを設けて実施した結果、来場者数は881名と大変多くの方にお越しいただくことができた。

《西成区こどもの読書活動推進支援事業》

・読書のきっかけづくりとして、年間の読量冊数に応じて賞状を贈呈する事業で、今年度からは未就学児にも対象を広げ、保護者による家庭での絵本の読み聞かせも表彰の対象としている。

・進捗状況については、各保育所、幼稚園、学校に読書カードや読み聞かせカードを配付し、4月から翌年1月までの期間で取組を実施している。1～2月頃に報告書の提出を依頼し、目標達成者については、区長が希望校に直接訪問して表彰する予定。

《キャリア教育推進支援事業》

・区内の中学生を対象に、大阪市が連携協定を締結しているプロスポーツチームで活躍するゲストティーチャーによる出前授業を実施している。

・進捗状況については、7月7日に成南中学校でサントリーサンバーズ大阪、7月10日に今宮中学校でオリックスバファローズ、9月26日には鶴見橋中学校でサントリーサンバーズ大阪を招いて実施しており、今年度予定していた学校3校全てで実施済み。

《大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業》

・西成区を拠点に活動する大阪フィルハーモニー交響楽団による出前授業を実施している。

・進捗状況については、今年度予定していた学校8校全てで実施済み。

・また、大阪フィルハーモニー協会との連携事業として、小学校4年生から高校生と保護者を対象にした「西成オーケストラ鑑賞会2025」を9月13日土曜日に大阪フィルハーモニー会館で開催した。

《西成しごと博物館》

・大阪府中小企業家同友会西成住之江支部と共同で実施しており、区内を中心とした近隣

区の企業の皆様にブースを出展していただき、子どもたちにどんな仕事をしているのか見学や体験をしていただくイベントとなる。

・進捗状況については、今年度は11月9日(日)に区民センターで開催し、21社、19ブースが出展し、ワークショップ等を開催して、大変好評をいただいた。

《帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業》

・帰国・来日等で支援が必要な児童生徒に対し、寄り添い支援を行うサポーターを有償ボランティアとして配置している。

・進捗状況については、10月末時点で活動中のサポーターは全校合計18名、活動実績は合計1,110時間となっている。

《小・中学校サポーター登録事業》

・学校で幅広い分野で活動していただけるサポーターを募集しており、帰国・来日等のこどもコミュニケーション事業のサポーターとして活動いただくこともある。

・今年10月末までに、新たに学校紹介を経て活動に繋がったサポーターは、区低学年サポーター2名、帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーター11名で、これらを含め現在活動中のサポーターは、区低学年サポーターが33名、帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーターが18名となっている。

【各学校からの主な意見・質問】

《発展型学習支援事業》

・玉出小学校の児童や保護者は、教育への関心が高い方が多くおられるように思う。今年度から本校でジャガピースクールアドバンスが実施されることになり、保護者の皆様も安心して子どもを参加させることができるため、児童の参加率が増加していると思われる。

一方で、今年度から入塾テストが導入されたため、参加を躊躇する児童もいたが、多くの児童が積極的に参加してくれている。また、初回は不合格だった児童も、2回目のテストに再度挑戦し、合格する児童も見られた。

本校では、区役所が実施する教育支援事業について、担任教諭等が保護者と話をするなどし、参加を促すよう働きかけを行っている。

現在、ジャガピースクールアドバンスでは、6年生は集団授業が行われており、講師の先生方は、児童一人一人に回答の機会を設けるなどして、全員が参加できるよう工夫されている。そのため、子どもたちは楽しく授業を受けているようである。

5年生は参加人数が少ないため、個別指導が中心となっており、参加児童は全員女子で、和やかな雰囲気の中、楽しく授業を受けている。講師の先生方は、毎回担当学年を変えるなど、児童が飽きずに授業に取り組めるよう工夫をされている。来年度以降も、保護者や児童に積極的に声をかけ、参加を促していきたいと考えている。

《西成区こども生活・まなびサポート事業》

・今宮中学校では、昨年度より区居場所支援員1名が学習ルームにて支援を行っており、1学期に11名だった学習ルームの利用者が、2学期には16名に増加している。その主な理由として、全く登校できていなかった中学3年生が受験を意識して、2学期から登校するようになったことが挙げられる。しかし、その生徒はすぐに教室で授業を受けることは難しいので、学習ルームを利用へ行って自学自習し、支援員や教員が最低1名常駐して各教科の学習支援を行っている。こうして、子どもたちが学習ルームを通じて学校生活に徐々に慣れ、最終的には通常の教室に戻ることを目指している。

また2学期からは、小学生で給食後に体調が必ず悪くなるという児童が、短時間だけ学習ルームを利用して休憩し、その後教室へ戻るといった新しい活用方法ができてきている。このように、学習ルームは不登校対策として大いに役立っており、本校では小学校1年生から中学3年生まで幅広く柔軟に対応できている非常にありがたい制度だと感じている。まだ課題は残っているものの、今後もぜひこの学習ルームの活用を継続していきたいと考えている。

・天下茶屋中学校では、令和6年度から教育委員会のモデル事業として、スペシャルサポートルーム（以下「SSR」という。）の事業を開始している。

ただ、令和6年度については、当時の3年生90名のうち不登校が17～18名程と多く、

さらに1・2年生時点で学校に行けていない生徒が大半だったため、声をかけても今さら行きにくいということでSSRの定着ができなかったと感じている。

また、配置されていた支援員が12月に退職し、1～3月は支援員が不在となったため、教員（管理職）が不登校生徒の対応をするとともに、各学年で工夫のうえSSR以外の別室で見守る形で対応する状況であった。

令和7年度には新たな支援員が配置され、今宮中学校程の人数はいないが、3年生2名、2年生1名、1年生1名がSSRを活用している。3年生のうち1名は、2年生の途中から不登校になった生徒で、SSRができたことで登校を決意し、現在は教室に入れるまでになり、当初の目的通りSSRをステップにして教室復帰ができた。

もう1人の3年生は、SSRがなければ自宅から出られなかった生徒だったが、朝からSSRで自主学習や先生と学習を進め、退室時まで利用している。最近は高校の面接試験も受けており、面接練習もSSRで実施した。

2年生の生徒は、教室で体調を崩すことがあり、SSRを避難場所として利用し、気分が落ち着いたら教室に戻ることができている。

1年生の生徒は、まだ不定期登校だが、登校時は教室には入れないためSSRで数時間過ごしてから帰宅している。

また、先日、24区SSRモデル校の校長研修会があり、来年度以降は教育委員会施策がさらに拡充される予定という話も聞いた。

≪教育行政連絡会の開催日程≫

- ・今後の日程として、令和8年2月下旬に開催する予定。

【主な意見・質問】

- ・なし

第3回 西成区教育行政連絡会（非公開の部） 議事要旨

1 日時

令和7年12月8日（月） 午前10時40分～午前11時30分

2 場所

西成区役所 4階 4-6会議室

3 出席者

(1) 区役所

区長兼区シティマネージャー兼教育委員会事務局区担当教育次長、区副区長兼教育委員会事務局西成区教育担当理事、保健福祉担当部長、市民協働課長、窓口サービス課長、子育て支援担当課長兼教育委員会事務局西成区教育担当課長

(2) 中学校

天下茶屋中学校長、今宮中学校長（新今宮小学校長兼務）、成南中学校長、鶴見橋中学校長、梅南中学校長

(3) 小学校

天下茶屋小学校長、岸里小学校長、玉出小学校長、千本小学校長、橘小学校長、まつば小学校長、長橋小学校長、新今宮小学校長（今宮中学校長兼務）

4 議事要旨

- 令和8年度 こども・教育関連事業の変更点について

【説明要旨】

令和8年度こども・教育関連事業の変更点について、現時点の状況の説明を行った。

【各学校からの主な意見・質問】

令和8年度こども・教育関連事業の変更点に関して内容を確認する質問があった。

- 令和8年度 実施事業に関する区役所からの連絡事項

【説明要旨】

次回の教育行政連絡会は、令和8年2月下旬に開催する予定。